

学校地域連携コーディネーター（会計年度任用職員）募集要項

さいたま市教育委員会

- 1 目的 近年、急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化し、学校だけでは解決することが難しくなっている現状とともに、地域社会における支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会の停滞や教育力の低下などが指摘されています。こうした中、未来の創り手となるために必要な資質・能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」を推進するため、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標に向け、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子どもたちの成長を支えていくことが求められています。

そこで、本市では、学校と地域が連携・協働して行う様々な活動である「**地域学校協働活動**」の「**要**」となる**学校地域連携コーディネーター**を市立小・中・特別支援学校に配置し、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を推進しています。

- 2 業務内容 学校長が定める地域学校協働活動の推進に係る以下の業務にあたります。

- (1) 地域学校協働本部（スクールサポートネットワーク）※1の運営
- (2) チャレンジスクール※2実行委員会との連絡調整及びチャレンジスクールの運営支援
- (3) 学校運営協議会※3の委員として学校運営への参画
- (4) 学校運営協議会と地域学校協働本部（スクールサポートネットワーク）等との連絡調整
- (5) 登下校の見守り、子どもたちが取り組む地域課題解決型学習、郷土学習の企画、地域行事やボランティア活動への参画に対する支援
- (6) 学校教育全般におけるボランティアの募集・確保 など

※1 地域学校協働本部（スクールサポートネットワーク）とは、多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域と学校の協働活動を推進する体制を指します。

※2 チャレンジスクールとは、土曜日や放課後等に学校の教室等を活用して、希望する子どもたちが自主的な学習やスポーツ等に取り組む活動です。

※3 学校運営協議会とは、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して、地域住民、保護者等が参画し協議する機関を指します。なお、学校運営協議会を設置した学校のことを「コミュニティ・スクール」と呼んでいます。

- 3 勤務条件等 別紙「勤務条件通知書」のとおり

※ さいたま市のホームページからダウンロードもできます。

4 募集人員 100名程度

5 応募方法等

(1) 応募期間 令和6年10月1日(火)から令和6年11月15日(金)

※ 受付時間は、9時30分から17時15分まで(12時から13時を除く)とし、土・日曜日、祝日は除きます。

(2) 応募方法

応募書類を応募者本人が下記へ直接持参するか、「登録申請書在中」と朱書きし、特定記録郵便で郵送してください。この方法以外でお申込みした場合の事故に対しては本市では責任を負いません。

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

さいたま市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課 家庭地域連携係

(3) 応募書類

・ 登録申請書

さいたま市教育委員会所定のもの(要項同封)を使用し、必要事項を記入の上、写真を貼付して1部提出してください。登録申請書は、さいたま市のホームページからダウンロードもできます。

(さいたま市ホームページ⇒市政情報⇒募集⇒職員採用⇒非常勤職員の募集)

なお、応募書類に不備があるものは受け付けられません。また、一度提出された書類は返却しませんので御了承ください。

・ 封筒2枚(面接日時通知用・選考結果通知用)

➤ 規格 長3封筒(120mm×235mm)

➤ その他 110円切手を貼り、自宅の郵便番号・住所・氏名を記入

6 選考方法 応募書類の提出をもって、学校地域連携コーディネーターの採用候補者として登録します。登録の有効期限は令和8年3月31日までとなります。応募書類及び面接により採用予定者を選考し、結果は郵送により通知します。

なお、選考の結果、採用予定者となった場合には、健康診断の受診について通知します。受診に係る費用は自己負担となります。

※ 登録となった場合でも、市立小・中・特別支援学校の学校地域連携コーディネーターの配置状況により採用されない場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

7 面接日程 後日応募者宛に連絡します。

なお、日時については、教育委員会で指定します。

(令和7年1月中旬頃を予定)

8 備考 採用及び勤務条件の正式決定は、市議会における予算議案の成立後となります。